

魚介類の分析結果 <福島第一原子力発電所20km圏内> (Sr)
 2020年度 第3四半期

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		分析機関
			Sr-90 (Bq/kg(生))	参考 Cs合計 (Bq/kg(生))	
請戸川沖合 3 km 付近(T-S3)	カスザメ(全体)	2020/10/15	< 1.9E-02	4.1E+00	九州環境管理協会
1 F 敷地沖合 3 km 付近(T-S4)	カスザメ(全体)	2020/11/19	1.4E-02	4.6E+00	九州環境管理協会
熊川沖合 4 km 付近(T-S8)	カスザメ(全体)	2020/11/26	3.4E-02	6.5E+00	KANSOテクノス
熊川沖合 4 km 付近(T-S8)	ガザミ(全体)	2020/10/22	6.2E-02	7.9E+00	KANSOテクノス
請戸川沖合 1.8 km 付近(T-B2)	ホシザメ(全体)	2020/10/6	1.1E-02	5.3E+00	KANSOテクノス

- ・核種毎の半減期：Sr-90(約29年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 - ・不等号 (< : 小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
 - ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
 - ・Csは可食部(筋肉)で測定、Srは骨を含む魚全体(内臓以外)で測定。
 - ・ $0.0E \pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。
- (例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内> (H-3)
 2020年度 第3四半期

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目				参考 Cs合計 (Bq/kg(生))
			H-3(Bq/L)		H-3(Bq/kg(生))		
			組織自由水型	有機結合型	組織自由水型	有機結合型	
熊川沖合4km付近 (T-S8)	ヒラメ(筋肉)	2020/10/22	7.2E-02	< 2.8E-01	5.7E-02	< 3.7E-02	3.7E+00
		2020/11/26	6.5E-02	< 2.8E-01	5.3E-02	< 3.5E-02	ND
		2020/12/17	7.6E-02	< 2.7E-01	6.1E-02	< 3.5E-02	ND

採取地点	試料名	採取日	H-3 (Bq/L)
熊川沖合4km付近 (T-S8)	海水(表層)	2020/10/21	8.1E-02
		2020/11/25	7.5E-02
		2020/12/16	7.4E-02

- ・核種毎の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不等号(<：小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
- ・分析機関：一般財団法人 九州環境管理協会
- ・組織自由水型H-3とは、魚の筋肉に含まれる水分に含まれるH-3をいい、魚が生息する海水中のH-3濃度と比較される。
 有機結合型H-3とは乾燥させた魚の筋肉に含まれるH-3をいい、乾燥させた魚の筋肉を燃焼させたときに発生する水分に含まれるH-3濃度を表す。
- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。